

2016 9/27

No.2027

毎月第2・第4火曜日発行

# 政経 かながわ

一般社団法人  
— 神奈川政経懇話会 —



三浦市内の3小学校の児童が、小網代湾（同市三崎町小網代）に約千匹のマダイの稚魚を放流した。NPO法人小網代パール海育（うみいく）隊主催。



視点・点描	3
「自殺予防」一体で推進を	
国 際	4
中国公船の侵入とは何だったのか 尖閣紛争、国有化から4年	
経 済	6
全日空、787で世界初の50機目 エンジントラブルが懸念	
社会保障	8
地域医療構想の推進に向けて 三つの視点と方向性	
くらし2016	10
会計監査義務付けに不安	
広告珍談	12
広告はたのしい <sup>②④</sup> 電気は安全だ!	
NNAアジア経済レポート	13
神奈川景気データファイル	14
神奈川景気データファイル	15

### 事務局だより

#### ◇10月定例講演会

2016年10月20日(木)

午後1時30分～3時

ホテル横浜キャメロットジャパン  
5階「ジュビリーⅢ」

講師は日本大学教授の岩井奉  
信氏

演題は「現代日本政治と政局  
のゆくえ」

# 視点 点描



## 「自殺予防」一 体で推進を

9月10日の「世界自殺予防デー」。毎年このころになると、高校2年のときを思いだす。「なぜ、彼は自ら命を絶ったのか」。同級生の顔が浮かんでくる。

皆さんはこの数字をどう受けとめるだろうか。

日本財団が今年8月、インターネットを通じて全都道府県で20歳以上の男女約4万人を対象とした自殺に関する大規模な意識調査を

行った。その結果、4人に1人が「過去に本気で自殺したいと思ったことがある」と回答したのだ。社会に自殺リスクが潜む実態が浮き彫りになった。

さらに、驚かされたのは、全体の6・8%が「過去に自殺未遂をしたことがある」と答え、53万人超が自殺未遂を経験したとの試算も明らかにされたことだ。5人に1人が「身近な人を自殺で亡くし

ている」とも回答している。

とても深刻な状況と言わざるを得ない。政府や自治体を中心と成って、医療関係者、教育関係者、NPO法人などと一体となって、自殺予防に力を入れなくては行かない。

調査によると、「自殺したいと考えたことがある」と回答した人と割合は若年層ほど多かった。有識者の見方では、15〜39歳の自殺リスクは他の年代より高い傾向があるという。

子どもがいじめを苦しめた自殺もなかなかなくなるらない。今年8月に亡くなった青森県の中学1年の男子生徒の場合では、いじめを理由に自殺するとの内容が記された遺書とみられる書き置きが残されていたという。

どれだけ、悩み、苦しんでいたのかと思うと心が痛む。いじめの

防止を進めることはもちろん、悲惨な事態が起きる前に自殺の危険を示すサインをしっかりと逃さないようにする対応を進めたい。

まずは少しでも心が安らげる居場所づくりである。学校や地域、家庭それぞれで子どもたちが自殺に追い込まれないようにするきめ細かな取り組みが求められる。

死にたくなくなるような悩みを打ち明けたり、相談したりするのは勇気がいるのかもしれない。相談できないのでいつそう追い込まれてしまうのだろう。だからこそ、平塚市の街頭キャンペーンで呼び掛けられた言葉を強調したい。

「悩んでいる人はたくさんいるし、恥ずかしいことではない。1人で悩まず、まずは近くにいる人に声を掛けて」

(神奈川新聞社統合編集局次長

石曾根 剛)

# 電気は安全だ!

京都で小・中・高校の同級生に、天体でも機械でも電気でも電波でも、なんでも教えてくれるすごい友人・西垣守クンがいる。

大学を卒業後、彼は重電機メーカーに入社。山奥の発電所で仕事をしたことなど、じつに興味深く話してくれる。

電気をつくるのは、火力や水力、風力や潮力、原子力もある。もっとも古いのは、火力発電という。アメリカの発明王エジソンが1882年、火力発電に成功。日本には5年後の87(明治20)年に導入され、25キロボルトを発電した東京電灯会社が94(明治27)年7月、この広告を掲出した。

「電灯は地震に安全なり。東京電灯株式会社」とキヤッチフレーズ。内容は「安政大地震のころは

1万5000戸、市内の死者は7000人に達した。

種油とはナタネ油のこと、それらに比べて電気は安全だと。「大方の各位、公共のため、御一家のため、御一身のため、この安全なる電灯をご需要あらんことを祈る」

日本最初の水力発電は、京都であつた。琵琶湖から京都へ通水する「琵琶湖疎水」が完成すると、

船の往来や灌漑や飲用など、大きな期待があつた。ところが工事のまっ最中、アメリカで水力発電が開発されたと情報が入ってきた。

疎水の設計者・田辺朔郎は、京都

市会議員の高木文平とともに渡米。コロラド州アスペンで可動する、水力発電所を視察。水車は水車でも、電気エネルギーに変換すべきと確信した。

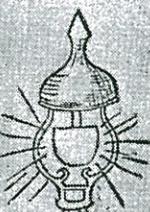
帰国した2人は水力発電の能力を、関係機関に力説した。認可されて90(明治23)年1月着工。80

キロワットのアメリカ製発電機2台をすえつけ、翌年5月、「蹴上発電所」が竣工。11月から発電開始。

織物生産で長年、稼働してきた西陣をはじめ、市内のさまざまな工場に電力を供給した。

95(明治28)年2月、日本で初めて運行された京都

54年から60年の安政年間、3大地震といわれる東海・南海・江戸と、大きな地震が起こった。なかでも江戸地震は壊焼家屋



**電燈地震に安全なり 東京電燈株式会社**

安政大地震の頃は種油を用ひし危険なる石油を用ふる今日に  
 一時に十四ヶ所の出火あり 危険なる石油を用ふる今日に  
 震若し花中にも都下は殆んど全焼するも電燈は地震より雷に  
 起りしならびに御一家の御一身の此安全なる電燈を御用あら

御一家の御一身の此安全なる電燈を御用あら

東京電燈株式会社

明治廿七年七月

めて運行された京都市街電車にも、おなじ年、京都岡崎が開催された第4回内国勸業博覧会にも送電した。

(美術工ツセイスト 茅ヶ崎市在住)